

B群とC群の群れ間交流について

山中に食べ物が少ない冬の間、B群、C群ともにサル寄せ場に滞在することがありました。

本来、群れが違くと交わることがないのですが、微笑ましい光景を目撃しましたので写真と共に紹介します。

右の写真の2頭のサルは、毛づくろいをしているサルがC群のメスザル『ゼンシン』で、毛づくろいを受けているサルがB群のオスザル『マルオ』です。群れが違うサルたちの毛づくろいは貴重な写真になりました。マルオは数年前までC群に所属していたこと、また性格が優しく、誰とでも仲良くできるタイプのサルであることも影響しているのかもしれない。



新入!

えんがわ スタッフの猿側日記 高崎山のサルを観察して



大槻 高嶺

令和5年4月から高崎山で勤めはじめ、サルのさまざまな魅力を発見しました。

サル寄せ場に集まるサルたちは、野生とは思えないような穏やかな表情を見せてくれます。しかし、エサを目の前にすると途端に真剣な眼差しに変わります。そして、エサ撒きの度に小競り合いを起こすのは、ほとんどがメスザルです。また、群れ内のケンカを見つけるや否や仲裁に駆けつける大人のオスザルもいれば、知らん顔をするオスザルもいてニホンザルにも個性があることがわかりました。

さらに高崎山では、野生のニホンザルでありながら人をあまり恐れないことから、子ザルの成長の様子を観察しやすいと感じました。子ザルが群れの中心部で無邪気に遊ぶ姿や母親に抱きついて甘える姿、職員の靴紐に興味津々に見つめる姿などを見せてくれます。子ザルが少し成長すると、子ザル同士で集まり、オスの子ザルはマウンティングをしたり、メスの子ザルは年上の子が年下の子を抱えて子守の真似事をしたり、成長の過程を見せてくれます。

このように、高崎山ではニホンザルの生活の様子を目の前で観察することができます。今後も、高崎山のニホンザルの魅力を発見していきたいと思えます。

大分市内の小学生・中学生は入園無料です。学生証などを見せて入園してください。

ご意見・ご要望をおまちしています。



〒870-0802 大分市神崎 3098-1
TEL097-532-5010 FAX097-536-2500

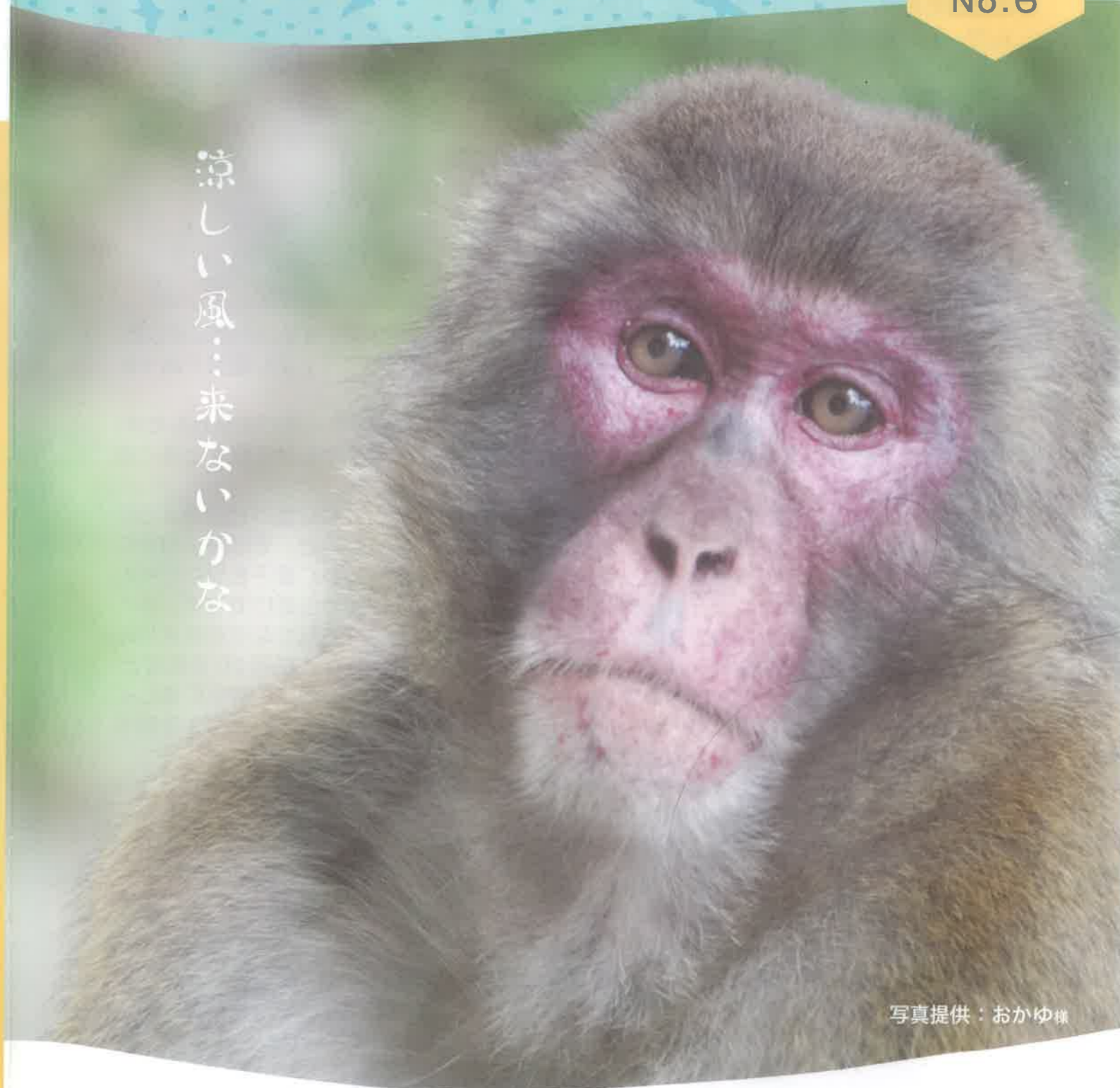
E-mail info@takasakiyama.jp
http://www.takasakiyama.jp/

高崎山通信

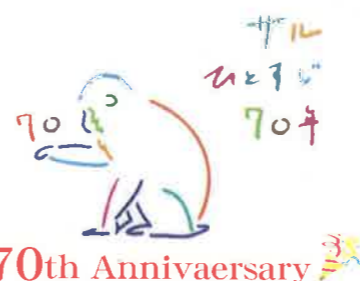
-Takasakiyama Public relations magazine-

高崎山
自然動物園
2023. 夏号
No.6

涼しい風…来ないかな



写真提供：おかゆ様



70th Anniversary



皆さんの撮影したステキなお写真で表紙を飾ってみませんか？
なお、お写真・データはお返しできませんので、ご了承ください。

見えて!

スタッフブログ・フェイスブック・Instagram・Youtubeで
高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。

